



2月号

麻布幼稚園だより

令和3年1月29日
港区立麻布幼稚園
園長 藤田 智子

明るい春に向かって



園庭の梅のつぼみが色付き、親子みなエコ活動で植えた球根も土の中から芽をのぞかせています。まだまだ寒い日が続きそうですが、この寒さを耐え抜き、きれいな花を咲かせてくれるのを楽しみにしています。麻布幼稚園の子どもたちも外の寒さに負けず、園庭で鬼ごっこをしたり広い校庭を思い切り走りながら風揚げをしたりして元気に遊んでいます。心も体もたくましく、健やかに大きくなってほしいと願う毎日です。



新しい年になり早一ヶ月、来週からいよいよ2月です。2月のはじめの行事といえば、節分があります。各学級では、子どもたちが作った鬼の面が、豆まき会の日の出番を待っています。

今年の節分は2月2日です。2月2日が節分になるのは明治30年以来124年ぶりのことだそうです。来年は2月3日に戻るそうですが、しばらくは4年ごとに2月2日となることが続くそうです。私自身、これまでに節分が2月4日になった年には3日ではないことに驚きを覚えた記憶がありますが、これからの子どもたちにとっては、節分=2月3日という印象ではなくなるのでしょうか。節分の翌日は立春です。厳しい寒さが続く中、例年より1日早い暦の上での明るい春の訪れを嬉しく感じます。



年少組の鬼の面

2月には、1年間の集大成ともいえる行事『こども会』もあります。今年は、コロナ禍の中での開催となり活動内容の工夫が必要な部分もありますが、感染予防対策を十分にしながら、子どもたちがのびのびと表現活動を楽しむことについてはこれまでと変わらず経験できるように各学級で取り組みを進めています。物語の登場人物になりきったり、いろいろな動きを楽しんだりする中で、自分の力を発揮する喜びや学級みんなで創り上げていく楽しさを味わえるようにしていきます。自分の力を発揮したり友達と協力したりしながらやり遂げた満足感は、一人ひとりの大きな自信や意欲につながります。



年中組の鬼の面

こども会の後は、次の学年を楽しみにする気持ちを高めながら、進級・進学に向けて準備を進めていきます。明るい春に向かって進む子どもたちの取り組みを応援しながら、それぞれの子どもたちが自信をもって新たなスタートができるよう支えていきたいと思えます。



年長組の鬼の面

